

《 用語解説 》

《あ行》

用語	解説
アンコンシャス・バイアス	人が過去の経験や知識、習慣や価値観を基にして認知や判断を行う際に、素早く判断できるよう無意識のうちに持ってしまふ偏見や固定観念のこと。「無意識の偏見」などと訳される。
IoT（アイ・オー・ティー）	Internet of Things（モノのインターネット）の略。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆる「モノ」が「インターネット」につながり情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すというコンセプトを表した語。
インクルージョン	Inclusion（包括・包含）。ビジネスにおいては、ダイバーシティが性別や年齢、障がいや国籍など、多様な個性や背景を持つ人材を積極的に採用し、組織に様々な人材が存在している状態であるのに対し、インクルージョンは、あらゆる人材が、互いに個性を認め、受け入れ合い、持てる能力を最大限に発揮し相互に機能している状態を言う。
AI（エーアイ）	Artificial Intelligence（人工知能）の略。コンピュータを使って、学習・推論・判断など人間の知能のはたらきを人工的に実現するための技術。
M字カーブ	女性の労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合）は、20歳代で上昇し、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、アルファベットのM字のような曲線を描くことから「M字カーブ」と言われる。近年、そのカーブは以前に比べ浅くなってきている。
SNS（エスエヌエス）	Social Networking Service（Site）の略。個人間の交流を支援するサービス（サイト）で、友人・知人等の社会的ネットワークをインターネット上で提供することを目的とするコミュニティ型のサービスのこと。
SDGs（エスディー・ジーズ）	Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」という理念のもと、人類、地球およびそれらの繁栄のために設定された行動計画であり、17のゴール・169

	のターゲットから構成される。
LGBTQ(エルジービーティキュー)	「LGBTQ」とは、 <u>L</u> esbian(レズビアン)同性を好きになる女性、 <u>G</u> ay(ゲイ)同性を好きになる男性、 <u>B</u> isexual(バイセクシュアル)男性も女性も好きになる人、 <u>T</u> ransgender(トランスジェンダー)心と体の性が一致しない人、 <u>Q</u> uestioning(クエスチョニング)自分の性別がわからない・意図的に決めていない・決まっていない人の頭文字をとった言葉で、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつとして使われている。 ※関連項目「セクシュアル・マイノリティ」参照。
エンパワーメント	一人一人が本来持つ素晴らしい潜在能力を能動的に沸き出させ、顕在化させること。

《か行》

用語	解説
核家族	夫婦のみ、夫婦と未婚の子のみ、ひとり親と未婚の子からなる世帯のこと。
鹿嶋っ子	鹿嶋市の地域性を活かして自分の生き方を創造し、それによって地域の人たちと豊かな生活を築いていこうとする人のこと。(「第2期鹿嶋市教育振興基本計画」より)
家族経営協定	農家等における家族員の平等な経営参画を保障するため、家族員相互間で話し合いによって合意されるルールのこと。
学校支援ボランティア制度	学校と地域の連携として、各小学校区にある公民館に「学校支援コーディネーター」を配置し、学校が支援を必要とすることについて、地域の方々(保護者を含む)をボランティア派遣するもので、これまで各学校で行われてきた地域ボランティア活動の取り組みを更に組織的にし、学校の求めと地域の力を結びつけ、より効果的な学校支援を行おうとするもの。
キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度(①人間関係形成・社会形成能力②自己理解・自己管理能力③課題対応能力④キャリアプランニング能力など基礎的・汎用的能力。)を育てることを通して、キャリア発達(社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくこと。)を促す教育のこと。
公共調達	市民の福祉の増進に寄与する資産を形成するための工事の完成、役務の提供、物件の納入等、市が自ら契約に基づき行う調達のこと。
合計特殊出生率	その年次の15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当す

	る。
高齢者人口	65歳以上の人口 ※関連項目「年齢3階層」参照のこと。
固定的な性別役割分担意識	「男性は仕事、女性は家庭」など性別で役割を押し付けたり、向き不向きを決めつけたりする意識のこと。
婚姻率・離婚率 単位：‰（パーミル）	人口1000人あたりの件数。 年間届出件数/10月1日現在の人口 ×1,000

《さ行》

用語	解説
ジェンダー	「女らしさ、男らしさ」といった社会的・文化的側面からみた性差のこと。これに対し、生物学的な性差をセックス(sex)という。ジェンダーは、男と女という生物学的な違いから必然的に生じるのではなく、社会が求める「らしさ」の教育やしつけによって後天的に形成される。
ジェンダー・バイアス	社会のあらゆる場面に存在する、ジェンダーにかかわる偏りをいう。社会の仕組みや人々の行動様式、意識など、さまざまなレベルにおいて、明示されたものであれ、暗黙のものであれ、性による区別や男女の非対称的な扱いがなされている。
自然動態	一定期間における出生・死亡に伴う人口の動きのこと。
社会動態	一定期間における転入・転出に伴う人口の動きのこと。
出生率	人口1,000人あたりの出生数。
人口置換水準	現在の人口を維持し、親の世代と同数で置き換わるために必要な合計特殊出生率のレベルのこと。
生産年齢人口	15～64歳の人口。 ※関連項目「年齢3階層」参照のこと。
セクシュアル・ハラスメント	「職場において、労働者の意に反する性的な言動が行われ、それを拒否するなどの対応により解雇、降格、減給などの不利益を受けること」又は「性的な言動が行われることで職場の環境が不快なものとなったため、労働者の能力の発揮に悪影響が生じること」をいう。男女雇用機会均等法により事業者はその対策が義務付けられている。
セクシュアル・マイノリティ	同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人など、セクシュアリティ（性のあり方）において少数派とされる人々のこと。性的少数者、性的マイノリティともいわれる。 ※関連項目「LGBTQ（エルジービーティキュー）」。
積極的改善措置	いわゆる「ポジティブ・アクション」のこと。 あらゆる分野における活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方

	に対し、活動に参画する機会を積極的に提供すること。
セーフティネット	「安全網」と訳され、生活困窮者等に対し、網目のように救済策を講じることで、社会全体に対して、安全や安心を提供するための仕組みのこと。
相対的貧困・貧困ライン・相対的貧困率	「相対的貧困」とは、一定基準（貧困ライン）を下回る等価可処分所得（「世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除き、児童手当などの政府からの公的な援助を加えた所得）」を世帯人員の平方根で割って調整した所得）しか得ていない状況をいい、「貧困ライン」とは、日本の等価可処分所得の中央値の半分の値をいい、「相対的貧困率」は貧困ラインに満たない世帯員の割合のことをいう。
SOGI（ソジ）	「性的指向（Sexual Orientation：どの性を好きになるか）」 「性自認（Gender Identity：こころの性）」の頭文字をとったもの。セクシャリティは一人一人異なり、多様な性のあり方が存在している。このため、すべての人が持っている属性や特徴であるという概念を表す言葉として使われている。

《た行》

用語	解説
ダイバーシティ	「多様性」のこと。性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。
デートDV	恋人同士など親密な関係における暴力で、相手の交友関係や行動をしぼる、怒鳴ったり暴力をふるう、性行為を強要する、避妊に協力しないなど、様々な形の暴力を含む。若者の間で問題となっている。
転出超過・転入超過	転入超過とは、一定期間における転入数が転出数を上回っている状態をいい、一方で転出超過とは、一定期間における転出数が転入数を上回っている状態をいう。
ドメスティック・バイオレンス（DV）	「配偶者等からの暴力」の項を参照のこと。

《な行》

用語	解説
年少人口	0～14歳人口 ※関連項目「年齢3階層」を参照のこと。
年齢3階層（年少人口、生産年齢人口、高齢者人口）	年少人口：0～14歳人口 / 生産年齢人口：15～64歳人口 / 高齢者人口：65歳以上人口

《は行》

用語	解説
配偶者等からの暴力 (ドメスティック・バイオ レンス (DV))	配偶者や恋人など親密な関係にある人からふるわれる暴力の ことで、殴る、蹴るという「身体的暴力」だけでなく、言葉に よる「精神的暴力」、親・兄弟姉妹や友人との付き合いや行動 を制限する「社会的暴力」、生活費を渡さないといった「経済 的暴力」、避妊に協力しないなどの「性的暴力」も含まれる。 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (平成13年法律第31号)」では、配偶者(事実婚、元配偶 者を含む)、生活の本拠を共にする交際相手からの暴力を法の 適用対象としている。
パタニティ・ハラスメント	育児のために休暇や時短勤務を希望する男性社員に対する嫌 がらせ行為のこと。上司が社員の希望を妨げるパワーハラス メントの一種である。妊娠した女性社員に対する嫌がらせ行 為をさすマタニティ・ハラスメントに対し、父性を意味する 英語パタニティ「paternity」とハラスメントを組みあわせた 和製英語である。
バリアフリー	高齢者・障がい者等が社会生活をしていく上で障壁(バリア) となるものを除去(フリー)すること。物理的、社会的、制度 的、心理的な障壁、情報面での障壁など全ての障壁を除去す るという考え方のこと。
貧困ライン	※「相対的貧困・貧困ライン・相対的貧困率」を参照のこと。
ベイズ推定値	合計特殊出生率において、市区町村単位では出生数などの標 本数が少なく、偶然変動の影響を受けて数値が不安定な動き を示すことからベイズ統計による推定の適用を行って算出し た数値のこと。
ヘルスリテラシー	健康や医療に関する情報を入手、理解、評価、活用するた めの知識、意欲、能力のこと。それによって、日常生活におけ るヘルスケア、疾病予防、健康増進について、判断・意思決定 をし、生涯を通じて生活の質を維持・向上につなげていくこ とが期待される。
放課後子ども総合プラン	「放課後子ども総合プラン」は、国において、共働き家庭等 の子どもが小学校に進学する際に、預けられる時間が短くな ることにより、働き方を変えなければならない状況(いわゆる 「小1の壁」)を打破するとともに、次代を担う人材を育成 するため、すべての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、 多様な体験・活動を行うことができるよう、文部科学省と厚 生労働省が協力し、一体型を中心とした放課後児童クラブ及 び放課後子ども教室の計画的な整備を進めるため、策定され

	たものである。なお、放課後子ども総合プランに基づく取り組み等については、次世代育成支援行動計画に盛り込むこととされており、鹿嶋市においては、「鹿嶋市子ども・子育て支援計画」において、子ども子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」と一体的に策定をしている。
ポジティブ・アクション	「積極的改善措置」の項を参照のこと。

《ま行》

用語	解説
マタニティ・ハラスメント	働く女性が妊娠・出産・育児休業等を理由に職場で受ける精神的・肉体的な嫌がらせや不利益な取扱い（解雇・雇止め、降格・減給、心ない言葉かけ等）のこと。
まちづくり出前講座	市民からの要望に応じて、学習会等へ市担当職員を講師として派遣し、市の業務等に関する説明や職員が職務上習得した知識や技術を提供するもので、市政に関する理解を深めていただき、市民の皆さんとともにまちづくりを進めることを目的として実施する事業。
メディア・リテラシー	メディアを主体的に読み解く能力、メディアにアクセスし活用する能力、メディアを通じコミュニケーションする能力を構成要素とする複合的な能力のこと。

《や行》

用語	解説
ユニバーサルデザイン	あらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のこと。製品や建築デザインといったハードの整備にとどまらず、交通・サービス・情報・教育・まちづくり・コミュニティ・行政など、ハード・ソフト両面の幅広い分野を対象とする。

《ら行》

用語	解説
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（「性と生殖に関する健康と権利」）	1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念。「リプロダクティブ・ヘルス」は、人間の生殖システムおよびその機能と活動過程のすべての側面において、単に疾病、障害がないというばかりでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあることを指す。「リプロダクティブライツ」は、すべてのカップルと個人が、自分たちの子どもの数、出産間隔、出産する時期を自由にかつ責任をもって決定でき、そのための情報と手段を得ることが

	<p>できるという基本的権利並びに最高水準の性に関する健康およびリプロダクティブ・ヘルスを享受する権利のこと。これらに関連して、思春期や更年期における健康上の問題等生涯を通じての性と生殖に関する課題も含め幅広く議論されている。</p>
リベンジポルノ	<p>元交際相手の性的な写真等を嫌がらせ目的でインターネット上に公開することなどをいう。このような行為の多くは、私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律（平成26年法律第126号）による規制の対象となる。なお、同法の規制対象は必ずしもこのような行為に限定されるものではない。</p>
労働力率	<p>15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合。</p> <p style="text-align: center;">労働力人口（就業者＋完全失業者） / 15歳以上人口</p>
ロールモデル	<p>具体的な行動や考え方の模範となる人物のこと。</p>

《わ行》

用 語	解 説
ワーク・ライフ・バランス	<p>仕事と生活の調和。老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態であること。仕事と生活の調和が実現した社会は、「就労による経済的自立が可能な社会」「健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会」「多様な働き方・生き方が選択できる社会」の3つの柱で構成される。</p>

◀ 鹿嶋市男女共同参画推進委員会委員名簿 ▶

(敬称略)

	区 分	氏 名	所 属 等	備 考
1	委員長	石津 和宏	鹿嶋市商工会青年部	
2	副委員長	五十嵐 榮子	茨城県男女共同参画推進委員 鹿嶋市ネットワークー連絡協議会会長	
3	委 員	植田 竜生	鹿嶋市商工会 経営指導員	
4	//	服部 亜樹子	女性就農者	
5	//	原 道子	一般公募 茨城県男女共同参画推進委員	
6	//	小畑 弘美	鹿嶋市立大野中学校 校長	前任
		札 敏夫	鹿嶋市立鹿島中学校 校長	後任
7	//	三次 義友	一般社団法人かしま青年会議所	
8	//	山形 慶子	子育て世代代表 公益財団法人鹿島病院	
9	//	山下 佳子	美空野保育園 理事長	
10	//	築瀬 剛	日本製鉄株式会社東日本製鉄所 総務部 上席主幹	

任期 令和元年7月1日～令和3年6月30日

第3次鹿嶋市男女共同参画計画

令和3年3月

発行 茨城県鹿嶋市

編集 市民生活部 市民活動支援課 女性支援室

〒314-8655

茨城県鹿嶋市平井1187番地1